

がんと就労

その人らしく生きることを支える ～様々な病期や生活の特徴をふまえた実践～

エキスパートナース育成事業は、がん看護のエキスパートナースが、実践につなぐための知識を獲得し、具体的なケア方法を学ぶ機会を提供することをねらいとしています。平成28年度、29年度の2年間の企画のメインテーマは、「がんと就労 その人らしく生きることを支える」です。平成28年度のサブテーマは、「働くことの継続をサポート」とし、看護職として働くことの継続支援のスキル獲得をめざしました。29年度は、「様々な病期や生活の特徴をふまえた実践」をテーマに、診断期、治療期、再発・転移等の様々ながんの病期や治療が患者・家族の生活に及ぼす影響を踏まえながら、より具体的な就労支援の在り方について議論を深めます。

日時：2017年2月4日（土） 10:40～12:10

**場所：第31回日本がん看護学会学術集会第2会場
（高知県立県民文化ホール：グリーン）
対象：学術集会参加者全員（事前申込み不要）**

司会 菊内由貴氏（四国がんセンター がん看護専門看護師）

プレゼンテーション1

「診断期と生活の特性を踏まえた就労支援」

小迫富美恵氏（横浜市立市民病院 がん看護専門看護師）

プレゼンテーション2

「初期治療期と生活の特性を踏まえた就労支援」

橋口周子氏（兵庫県立がんセンター がん看護専門看護師）

プレゼンテーション3

「再発・転移と生活の特性を踏まえた就労支援」

上杉和美氏（松山ベテル病院 がん看護専門看護師）

全体ディスカッション